

教育・研究業績書

講座名		
麻酔科学		
<教員の紹介>		
教授 北島 敏光	講師 木村 嘉之	
准教授 濱口 眞輔	講師 深川 大吾	
准教授 山口 重樹	講師 山崎 肇(学外派遣中)	
講師 永尾 勝	講師 和気 晃司	
講師 池田 知史		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月	概要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
<p>1. 教育内容</p> <p>1) 麻酔系統講義</p> <p>第4学年に、術前管理、術前評価、麻酔前投薬、術中全身管理、術中モニター、吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、筋弛緩薬とその拮抗薬、局所麻酔薬、伝達麻酔薬、脊髄くも膜下麻酔法、硬膜外麻酔法、酸・塩基平衡、麻酔合併症、麻酔事故、疼痛管理、ペインクリニック、小児麻酔、高齢者麻酔、産科麻酔、低血圧法、低体温法、特殊疾患の麻酔について講義を行った。</p> <p>2) 東洋医学系統講義</p> <p>第4学年に、歴史、診断法、生薬と薬理、治療法、方剤学、針治療について講義を行った。</p> <p>3) 緩和ケア系統講義</p> <p>第4学年に、ホスピスと終末期医療：死の医学、病名告知の問題、がんに伴う痛みとオピオイドを中心とした治療、外科での緩和ケア：消火器癌患者での緩和ケア、緩和ケアにおける放射線治療の役割、緩和ケアリハビリテーションについて講義を行った。</p>	<p>2004年5月～現在</p> <p>2008年4月～現在</p> <p>2004年5月～現在</p>	<p>麻酔の理解を深めるために、ビデオ、スライド、実際の麻酔機器・器具を用いて説明を行い、授業科目に興味を持たせるように務めた。また、講義内容をプリントにして学生に配布し、授業を分かり易くした。基礎的な知識ばかりでなく、5年生のBSLに必要な臨床的な知識である気道確保、気管挿管、循環管理、呼吸管理なども詳細に講義した。学習評価は期末テストに出席率を加味して総合評価した。</p> <p>講義内容をプリントにして学生に配布し、生薬として使用される植物はスライドで示し、出来るだけ分かり易く講義した。学習評価は期末テストに出席率を加味して総合評価した。</p> <p>緩和ケアの授業を通して、死の医学について教授した。特に、人間として尊厳をもって死を迎えることの重要性、チーム医療の重要性などについて講義した。そして、学生に「自己の死」と「他者の死」を熟考させるように務めた。学習評価は期末テストに出席率を加味して総合評価した。</p>

<p>4) 救急医学系統講義 第6学年に、全身麻酔、局所麻酔、術中合併症について講義を行った。</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>救急医学系統講義の1コマを使って、麻酔科学の講義を行った。学習効果は卒業試験での出題問題の正答率で評価した。</p>
<p>5) 必修BSL 第5学年に、1週間中央手術室(4日間)、麻酔科外来(1日間)において実習講義および臨床実習を行い、授業では学ぶことの出来ない知識や技術を教授した。中央手術室と麻酔科外来(ペインクリニック)での臨床実習を通じて、他科では学ぶことのない手技を学習させ、また時間厳守、規則遵守を指導した。</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>BSLでは学生が第4学年の授業で学んだ知識を実際の臨床の場で確認し、整理できるように教授した。さらに将来医師として必要な知識や技術、また患者と接する基本的な態度を学習させるように務めた。独自に作成したBSL用の小冊子を毎年更新して配布した。学生ごとに担当者を割り振り、積極的な学習意欲を引き出すように務めた。学習効果は実習態度、口頭試問などによって総合評価した。</p>
<p>6) 研修医教育 研修1年目の医師全員に、2ヵ月間中央手術室、麻酔科外来において臨床研修の指導を行った。さらに、2年目に麻酔研修を希望する者に対して2～3ヵ月間臨床研修を行った。</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>中央手術室の業務を通して、医師として基本的な技術である気道確保、気管挿管、全身管理などについて教授した。また、医療安全、感染防止を徹底させた。また、麻酔科外来(ペインクリニック)では、急性疼痛、慢性難治性疼痛、癌性疼痛などの治療法を学習させた。研修医が臨床の場で活用できるように「研修マニュアル」を定期的に更新して配布した。</p>
<p>7) 学生の授業参加意識の向上の取り組み</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>視聴覚教材としてビデオ、スライド、医療機器などを積極的に活用し、基礎知識ばかりでなく、臨床に則した授業、実習内容とした。また、授業中に質問をすることによって学生の参加意識を高めた。麻酔領域ばかりでなく、他科に関連する領域についても講義し、全身管理への関心を高めるように工夫した。</p>
<p>8) 学生による授業評価の活用</p>	<p>2004年5月～現在</p>	<p>学生から直接授業についての感想と評価を得て、授業技法の改善に役立てた。</p>
<p>② 作成した教科書、教材、参考書</p>		
<p>1. 「麻酔」の教材作成</p>	<p>2004年4月</p>	<p>麻酔の授業内容の要約に参考資料と添付した教材を作成し、各授業時に配布して学生の学習と理解の一助としている。</p>

2. 「緩和ケア」の教材作成	2008年4月	緩和ケアの授業内容の要約に参考資料と添付した教材を作成し、各授業時に配布して学生の学習と理解の一助としている。
3. 「東洋医学」の教材作成	2008年4月	東洋医学の授業内容の要約に参考資料と添付した教材を作成し、各授業時に配布して学生の学習と理解の一助としている。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		
1) 栃木県リハビリテーション談話会	2006年3月	緩和ケアとリハビリテーションについて講演した。
2) 栃木バイタルサインセミナー	2007年5月	疼痛に伴う循環動態あるいは呼吸状態の変動について講演した。
3) 獨協医科大学FD委員会	2008年3月	“学生が選ぶベストティーチャー賞”受賞担当教員として講義方法や教育評価について講演した。
4) 栃木バイタルサインセミナー	2008年11月	バイタルサインに必要なモニターについて講演した。
5) 獨協医科大学病院緩和ケア研修会	2009年2月	緩和ケアに必要な基礎的知識と治療法について講演した。
6) 栃木県緩和ケア研修会	2009年3月	緩和ケアに必要な基礎的知識と治療法について講演した。

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	教授	北島 敏光	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1996年8月～現在	日本心臓麻酔学会理事		
1997年2月～現在	日本臨床麻酔学会評議員		
1997年5月～現在	日本東洋医学会会員		
1997年9月～現在	日本静脈麻酔・Infusion Technology 研究会評議員		
1998年9月～現在	日本蘇生学会評議員		
1999年7月～2007年6月	日本ペインクリニック学会理事		
2002年7月～2007年6月	日本ペインクリニック学会事務局長		
2003年12月～現在	日本疼痛学会評議員		
2005年7月	日本ペインクリニック学会第39回大会会長		
2006年12月～現在	日本頭痛学会評議員		
2007年6月～現在	日本麻酔科学会関東甲信越支部理事		
2007年7月～現在	日本ペインクリニック学会監事		
2007年12月	日本局所麻酔学会会長		
2008年1月～現在	栃木県医療審議会委員，同病床整備部会委員		
2008年2月～現在	栃木県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員（学識経験者）		
2008年2月～現在	壬生町防災会議委員		
2008年2月	第37回日本慢性疼痛学会会長		
2008年3月～現在	栃木県立がんセンター運営連絡協議会委員		
2008年4月～現在	栃木県医師会理事		
2008年4月～現在	栃木県医師国民健康保険組合理事		
2008年4月～現在	栃木県病院協会理事		
2008年4月～現在	栃木県救急医療運営協議会委員		
2008年4月～現在	栃木県医師会自浄作用活性化委員会委員		
2008年4月～現在	NHO 栃木病院地域医療研修センター運営協議会委員		
2008年4月～現在	日本私立医科大学協会卒後医学教育委員会委員		
2008年4月～現在	栃木県臓器移植推進協会理事		
2008年4月～現在	宇都宮地方裁判所連絡委員会委員		

Ⅲ 研究活動

【学位論文】

【著 書】

和文

1. 北島敏光：ペインクリニックにおける漢方薬，森本昌宏編，ペインクリニックと東洋医学 真興交易株式会社，pp220-230，2004.
2. 濱口眞輔，北島敏光：気道内圧計．稲田英一編，麻酔科診療プラクティス 麻酔偶発症・合併症 文光堂，pp66-68，2004.
3. 北島敏光：痛みの治療法：神経ブロック．小川節郎，新宮興，武田純三，西野卓編，麻酔科学スタンダード IV 関連領域 克誠堂出版，pp220-230，2004.
4. 濱口眞輔，北島敏光：術後鎮痛法の基本的考え方．稲田英一編，麻酔科診療プラクティス これだけ知っておきたい術後管理 文光堂，pp46-49，2004.
5. 北島敏光：東洋医学的治療—漢方療法．土井修司企画，医学のあゆみ，医歯薬出版株式会社，pp595-599，2004.
6. 北島敏光：全身麻酔終了時の知識：吸入麻酔後の麻酔覚醒の促進と換気条件．岩崎寛編，麻酔科診療プラクティス 麻酔器・麻酔回路 文光堂，pp180-181，2006.
7. 北島敏光：硬膜外麻酔施行時の問題点：1．偶発的硬膜外穿刺後の再穿刺．2．硬膜穿刺後頭痛に対する自己血パッチ．3．持続硬膜外麻酔用カテーテルの迷入と抜去時の留意点．岩崎寛，野口孝之，福田和彦編，ここがポイント 麻酔手技上達のコツ 南江堂，pp227-236，2006.
8. 北島敏光：星状神経節ブロックのコツ．宮崎東洋編，痛み診療のコツと落とし穴 中山書店，pp101-103，2007.
9. 北島敏光，奥田泰久：伝達麻酔．武田純三，森田茂穂編，麻酔実践テキスト 南江堂，pp232-233，2008.

【原 著】

欧文

1. Yamaguchi S, Lande B, Kitajima T, Hori Y, Shirahata M: Patch clamp study of mouse glomus cells using a whole carotid body. Neurosci Lett 357:155-157, 2004.
2. Fujii K, Egawa H, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T, Minami J: Effects of head-up tilt after stellate ganglion block on QT interval and QT dispersion. Reg Anesth Pain Med 29:317-322, 2004.
3. Tezuka M, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Addition of dexmedetomidine prolongs duration of vasodilation induced by sympathetic block with mepivacaine in dogs. Reg Anesth Pain Med 29:323-327, 2004.
4. Takahashi Y, Ikeda T, Nagao M, Yamazaki H, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Differences in duration and magnitude of vasodilative effect by sympathetic block with ropivacaine 0.2% and mepivacaine 0.5% in dogs. Dokkyo J Med Sci 32:1-5, 2005.
5. Egawa H, Morita M, Yamaguchi S, Nagao M, Iwasaki T, Hamaguchi S, Kitajima T, Minami J: Comparison between intraperitoneal CO₂ insufflation and abdominal wall lift on QT dispersion and rate-corrected QT dispersion during laparoscopic cholecystectomy. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 16:78-81, 2006.
6. Morita M, Tezuka M, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Optimal effective concentration of lidocaine for stellate ganglion block in pigs. The Pain Clinic 18:207-212, 2006.

7. Takiguchi T, Yamaguchi S, Tezuka M, Furukawa N, Kitajima T: Compression of the subarachnoid space by the enlarged epidural venous plexus in pregnant women. *Anesthesiology* 105:848-851, 2006.
8. Iwasaki T, Takahashi Y, Kimura Y, Yamazaki H, Yamaguchi S, Kitajima T: Comparison of 0.25% levobupivacaine, 0.25% bupivacaine, and 0.125% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. *Reg Anesth Pain Med* 32:97-101, 2007.

和文

1. 船田安希, 岩瀬良範, 松島久雄, 北島敏光, 今井裕: ビデオ喉頭鏡を用いた唇顎口蓋裂患者の気管挿管の困難性についての検討. *日本歯科麻酔学会雑誌* 33:364-368, 2005.
2. 興津久美子, 岩瀬利康, 宮川潤子, 本瀬葉子, 石川昌弘, 伊藤好夫, 篠崎桂子, 上武真佐恵, 森実朋子, 越川千秋, 佐山静江, 山口重樹, 北島敏光: 薬剤師からみたオピオイド鎮痛薬の非がん性疼痛患者への処方について. *慢性疼痛* 27:99-102, 2008.

【症例報告】

欧文

1. Takiguchi T, Yamaguchi S, Okuda Y, Kitajima T: Deviation of the cauda equina by changing position. *Anesthesiology* 100:754-755, 2004.
2. Takiguchi T, Yamaguchi S, Hashizume Y, Kitajima T: Movement of the cauda equina during the lateral decubitus position with fully flexed leg. *Anesthesiology* 101:1250, 2004.
3. Yamaguchi S, Urabe K, Ikeda T, Kitajima T: Airway obstruction due to incarceration of the epiglottis into the epiglottic bars during general anesthesia with a new perilaryngeal airway (CobraPLA). *Anesth Analg* 102:973, 2006.
4. Takiguchi T, Yamaguchi S, Usui Y, Kitajima T: Morphological findings of the cauda equina in the lateral decubitus position in cadavers. *Anesth Analg* 103:501-502, 2006.

和文

1. 濱口眞輔, 池田知史, 山崎肇, 木村嘉之, 永尾勝, 和気晃司, 山口重樹, 北島敏光: 術中大量出血をきたした赤血球増加症患者の麻酔経験. *麻酔* 53:785-787, 2004.
2. 藤井宏一, 篠原昌之, 濱口眞輔, 見塩六生, 奥田泰久, 北島敏光: 大後頭神経ブロック直後に意識消失, 呼吸停止に陥った1症例. *ペインクリニック* (別冊秋号) 25:S473-S474, 2004.
3. 濱口眞輔, 山崎肇, 永尾勝, 藤井宏一, 高橋良享, 北島敏光: ノイロトロピン錠の内服によって間欠性跛行が軽快した腰部脊柱管狭窄症の1例. *ペインクリニック* 25:1398-1399, 2004.
4. 高薄敏史, 渡辺正嗣, 鷹西敏雄, 山口重樹, 濱口眞輔, 北島敏光: 修正大血管転位症を伴った帝王切開症例の麻酔経験. *麻酔* 53:1276-1278, 2004.
5. 濱口眞輔, 高橋良享, 藤井宏一, 森田美則, 木村嘉之, 永尾勝, 山崎肇, 北島敏光: 筋・筋膜性疼痛症候群に対するネオビタカインあるいは0.75%ロピバカインを用いたトリガーポイント注射の比較. *ペインクリニック* 25:1639-1642, 2004.
6. 松島久雄, 岩瀬良範, 鶴見友子, 北島敏光, 崎尾秀彰: ビデオ喉頭鏡による気管挿管を行った熱傷後の顔面・頸

- 部癱痕拘縮の1小児例. 日本臨床麻酔学会誌 24: 179-182, 2005.
7. 濱口眞輔, 岩崎忠臣, 深川大吾, 木村嘉之, 山口重樹, 北島敏光: 多発性硬化症の下肢痛 (CRPS) に対して脊髄刺激療法が走行した症例. ペインクリニック 27: 623-625, 2006.
 8. 恵川宏敏, 山口重樹, 岩崎忠臣, 石川和由, 濱口眞輔, 北島敏光: Pena-Shokeir症候群 I型の麻酔経験. 日本小児麻酔学会誌 12: 128-131, 2006.
 9. 岩崎忠臣, 山口重樹, 金子瑞恵, 古川直樹, 篠崎未緒, 濱口眞輔, 北島敏光: 胸郭出口症候群に対して神経ブロック療法が奏効した症例. ペインクリニック 28: 329-395, 2007.
 10. 手塚薫子, 金子瑞恵, 大谷太郎, 寺島哲二, 橋本智貴, 濱口眞輔, 北島敏光: シングルリードによるデュアルスチム法の脊髄刺激療法によって良好な疼痛管理をなし得たfailed back surgery syndromeの1症例. 29: 789-791, 2008.
 11. 森田美則, 橋本智貴, 手塚薫子, 大谷太郎, 寺島哲二, 古川直樹, 渡辺正嗣, 濱口眞輔, 北島敏光: トリガーポイント注射部位に巨大血腫が発生したレックリングハウゼン氏病の1症例. ペインクリニック 29: 1147-1149, 2008.
 12. 渡辺正嗣, 橋本智貴, 手塚薫子, 古川直樹, 金子瑞恵, 岩崎忠臣, 森田美則, 濱口眞輔, 北島敏光: 非がん性慢性疼痛患者に対するミルナシプランの効果に関する検討. ペインクリニック 29: 1213-1222, 2008.
 13. 船田安希, 今井裕, 山口重樹, 篠崎未緒, 濱口眞輔, 北島敏光: 治療方法が制限された腎移植後の三叉神経痛に対して三叉神経高周波熱凝固法が奏効した1症例. ペインクリニック 29: 1421-1423, 2008.
 14. 山口重樹, 石川和由, 古川直樹, 北島敏光, 鷹西敏雄: オピオイドおよびガバペンチンを用いて治療した後天性免疫不全症候群に併発した帯状疱疹後神経痛. 慢性疼痛 27: 73-77, 2008.
 15. 山口重樹, 手塚正智, 金子瑞恵, 池田知史, 北島敏光: 多発性骨髄腫の発症により再燃した帯状疱疹後神経痛. 慢性疼痛 27: 79-82, 2008.
 16. 山口重樹, 橋爪義隆, 北島敏光, 佐伯吉規, 下田和孝: 慢性疲労症候群および線維筋痛症が疑われた症例に対するオピオイドおよびガバペンチンの併用. 慢性疼痛 27: 83-88, 2008.

【総 説】

和文

1. 奥田泰久, 井上久, 新井丈郎, 久野裕一郎, 北島敏光: 星状神経節ブロック後頸部血腫に対するリスクマネージメント. ペインクリニック 26: 469-474, 2005.
2. 恵川宏敏, 北島敏光: 薬のコーナー 黄連解毒湯. ペインクリニック 26: 883-886, 2005.
3. 恵川宏敏, 北島敏光: 薬のコーナー 三黄瀉心湯. ペインクリニック 26: 1013-1016, 2005.
4. 北島敏光: ペインクリニックにおける話題の治療法—痛みの漢方療法. Current Therapy 23: 89-94, 2005.
5. 恵川宏敏, 北島敏光: 薬のコーナー 越婢加朮湯. ペインクリニック 26: 1160-1163, 2005.
6. 滝口鉄郎, 山口重樹, 橋爪義隆, 手塚正智, 北島敏光: 脊髄MRI所見からみた脊髄くも膜下麻酔および硬膜外麻酔施行時の注意点. 麻酔 55: 1023-1030, 2006.
7. 濱口眞輔, 北島敏光: 胸部硬膜外ブロック. ペインクリニック 27: S351-S359, 2006.
8. 山口重樹, 北島敏光: 星状神経節ブロック. ペインクリニック 27: S519-S528, 2006.
9. 臼井要介, 小林俊哉, 北島敏光: ターミナルペイン治療. 3) 小児がん患者終末期におけるtotal painと代替療法. ペインクリニック 27: 1148-1156, 2006.

10. 濱口眞輔, 古川直樹, 金子瑞恵, 高薄敏史, 森田美則, 北島敏光: 医療安全の観点から考案した酸素チューブの紹介. 麻酔 56 : 851-853, 2007.
11. 北島敏光: 带状疱疹痛と带状疱疹後神経痛. 老年医学 45 : 879-881, 2007.
12. 北島敏光, 間中信也, 喜多村孝之, 森松光紀: 高齢者における頭痛と神経痛への対処法. 老年医学 45 : 895-906, 2007.
13. 滝口鉄郎, 山口重樹, 北島敏光: 脊柱管内の出来事—Neuraxial anesthesiaに影響する現象—. 日本臨床麻酔学会誌 27 : 675-683, 2007.
14. 山口重樹, 北島敏光: アセトアミノフェン. ペインクリニック 29 : 606-613, 2008.
15. 山口重樹, 北島敏光: 慢性疼痛治療薬の有害事象とその判断. PHARM STAGE 7 : 27-30, 2008.
16. 北島敏光: 非ステロイド系抗炎症薬. 治療 90 : 2073-2076, 2008.
17. 山口重樹, 北島敏光: III神経障害性疼痛の治療 C) 薬物療法 5. 各種鎮痛薬 1) 持続くも膜下注入による慢性疼痛治療—モルヒネからジコノタイドまで—. ペインクリニック (別冊春号) 30 : S253-S262, 2009.

【その他】

和文

1. 岩瀬良範, 松島久雄, 北島敏光, 崎尾秀彰: ビデオ喉頭鏡による気管挿管DVD動画図譜. 東レメディカル株式会社, 2004.
2. 濱口眞輔, 北島敏光: 質疑応答 トロンボテストが低値である症例に対する硬膜外麻酔の可否について. 臨床麻酔 28 : 235-236, 2004.
3. 濱口眞輔, 北島敏光: 質疑応答 脊髄くも膜下麻酔後の飲水開始について. 臨床麻酔 29 : 1055-1056, 2005.
4. 北島敏光: 日本ペインクリニック学会第39回大会を主催するにあたって. ペインクリニック 26 : 913-914, 2005.
5. 北島敏光: 日本ペインクリニック学会第39回大会を終えて. 麻酔 54 : 1399-1401, 2005.
6. 北島敏光: どうする麻酔科医不足. 麻酔 55 : 141, 2006.
7. 濱口眞輔, 北島敏光: 術中にロピオンを使用した場合のボルタレンの使用について. 臨床麻酔 31 : 106-107, 2007.
8. 北島敏光: 〈書評〉痛み疾患の画像診断—画像検査の基礎知識と疼痛疾患の理解を深めるために—. ペインクリニック 29 : 1295, 2008.
9. 北島敏光: ドクター人形. 日本医事新報 4398 : 61, 2008.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	准教授	濱口 眞輔	大学院の研究指導担当資格 有
II 学会等および社会における主な活動			
2007年7月～現在	日本ペインクリニック学会 評議員		
2003年3月～現在	栃木身体疾患と不安・抑うつ研究会世話人		
2007年3月	日本ペインクリニック学会第9回北関東地方会会長		
2008年7月	日本ペインクリニック学会 会則検討委員 査読委員		
III 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>濱口眞輔</u> , 北島敏光: 気道内圧計. 稲田英一編, 麻酔科診療プラクティス 麻酔偶発症・合併症 文光堂, pp66-68, 2004.			
2. <u>濱口眞輔</u> : 冠動脈攣縮, 岩崎寛編, 麻酔科診療プラクティス 麻酔偶発症・合併症, 文光堂, pp66-68, 2004.			
3. <u>濱口眞輔</u> , 北島敏光: 仙骨ブロックに使用した薬物による肝障害の可能性について. 臨床麻酔編集委員会編, 臨床麻酔Q&A (II), 真興交易 (株) 医書出版部, pp182-183, 2004.			
4. <u>濱口眞輔</u> , 北島敏光: 術後鎮痛法の基本的考え方. 稲田英一編, 麻酔科診療プラクティス これだけ知っておきたい術後管理 文光堂, pp46-49, 2004.			
5. <u>濱口眞輔</u> : 脊髄刺激療法を有効に行うためのコツと注意点. 宮崎東洋編, 痛み診療のコツと落とし穴. 中山書店, pp201-203, 2007.			
6. <u>濱口眞輔</u> : 疼痛疾患に対する薬物療法のコツ. 宮崎東洋編, 痛み診療のコツと落とし穴. 中山書店, pp244-246, 2007.			
【原 著】			
欧文			
1. Fujii K, Egawa H, Yamaguchi S, <u>Hamaguchi S</u> , Kitajima T, Minami J: Effects of head-up tilt after stellate ganglion block on QT interval and QT dispersion. Reg Anesth Pain Med 29:317-322, 2004.			
2. Tezuka M, Kimura Y, Yamaguchi S, <u>Hamaguchi S</u> , Kitajima T: Addition of dexmedetomidine prolongs duration of vasodilation induced by sympathetic block with mepivacaine in dogs. Reg Anesth Pain Med 29:323-327, 2004.			
3. Takahashi Y, Tezuka M, Kimura Y, Nagao M, Yamazaki H, Yamaguchi S, <u>Hamaguchi S</u> : Comparison of 0.2% ropivacaine, 0.125% bupivacaine and 0.25% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. Reg Anesth Pain Med 29:441-445, 2004.			
4. Takahashi Y, Ikeda T, Nagao M, Yamazaki H, Kimura Y, Yamaguchi S, <u>Hamaguchi S</u> , Kitajima T: Differences in duration and magnitude of vasodilative effect by sympathetic block with ropivacaine 0.2% and mepivacaine			

0.5% in dogs. Dokkyo J Med Sci 32:1-5, 2005.

5. Egawa H, Morita M, Yamaguchi S, Nagao M, Iwasaki T, Hamaguchi S, Kitajima T, Minami J: Comparison between intraperitoneal CO2 insufflation and abdominal wall lift on QT dispersion and rate-corrected QT dispersion during laparoscopic cholecystectomy. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 16:78-81, 2006.
6. Morita M, Tezuka M, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Optimal effective concentration of lidocaine for stellate ganglion block in pigs. The Pain Clinic 18:207-212, 2006.
7. Shinozaki M, Yamaguchi S, Iwasaki T, Takahashi Y, Fukagawa D, Kimura Y, Hamaguchi S: Comparison of sympathetic block with 2.0% mepivacaine and surgical sympathectomy with radiofrequency thermocoagulation on vasodilative effect in dogs. Dokkyo J Med Sci 35: 1-6, 2008.

和文

1. 深川大吾, 藤井宏一, 山口重樹, 濱口眞輔, 小林直彦: 左室心筋における中等度低酸素による誘導型 NO 合成酵素 (iNOS) の発現. 麻酔 53: 23-28, 2004.
2. 山崎肇, 古川直樹, 金子瑞恵, 岩崎忠臣, 渡辺正嗣, 岩田英明, 藤井宏一, 高橋良享, 石川和由, 手塚正智, 篠崎未緒, 深川大吾, 木村嘉之, 池田知史, 永尾勝, 恵川宏敏, 鷹西敏雄, 山口重樹, 濱口眞輔, 北島敏光: ギャバペンチン 28: 1997-2003, 2004.

【症例報告】

和文

1. 濱口眞輔, 池田知史, 山崎肇, 木村嘉之, 永尾勝, 和気晃司, 山口重樹, 北島敏光: 術中大量出血をきたした赤血球増加症患者の麻酔経験. 麻酔 53: 785-787, 2004.
2. 藤井宏一, 篠原昌之, 濱口眞輔, 見塩六生, 奥田泰久, 北島敏光: 大後頭神経ブロック直後に意識消失, 呼吸停止に陥った1症例. ペインクリニック (別冊秋号) 25: S473-S474, 2004.
3. 濱口眞輔, 山崎肇, 永尾勝, 藤井宏一, 高橋良享, 北島敏光: ノイロトロピン錠の内服によって間欠性跛行が軽快した腰部脊柱管狭窄症の1例. ペインクリニック 25: 1398-1399, 2004.
4. 高薄敏史, 渡辺正嗣, 鷹西敏雄, 山口重樹, 濱口眞輔, 北島敏光: 修正大血管転位症を伴った帝王切開症例の麻酔経験. 麻酔 53: 1276-1278, 2004.
5. 濱口眞輔, 高橋良享, 藤井宏一, 森田美則, 木村嘉之, 永尾勝, 山崎肇, 北島敏光: 筋・筋膜性疼痛症候群に対するネオピタカインあるいは0.75%ロピバカインを用いたトリガーポイント注射の比較. ペインクリニック 25: 1639-1642, 2004.
6. 高井真紀, 臼井要介, 永尾勝, 恵川宏敏, 山口重樹, 濱口眞輔, 奥田泰久, 北島敏光: フェノールグリセリンを用いたくも膜下ブロックにより除痛した脊椎転移による脊髄損傷患者の1症例. ペインクリニック 25 (別冊春号): S10-S15, 2004.
7. 池田知史, 藤巻克久, 山崎肇, 臼井要介, 永尾勝, 濱口眞輔, 奥田泰久, 北島敏光: 超高齢者特発性三叉神経痛3症例の治療経験. ペインクリニック 25 (別冊春号): S229-S231, 2004.
8. 濱口眞輔, 山崎肇, 池田知史, 高薄敏史, 森田美則, 木村嘉之, 永尾勝, 北島敏光: 当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった頸椎症手術後の難治性上肢痛の2例. 痛みと漢方 14: 58-61, 2004.
9. 濱口眞輔, 高橋良享, 藤井宏一, 森田美則, 木村嘉之, 永尾勝, 山崎肇, 北島敏光: 筋・筋膜性疼痛症候群に対

するネオビタカインあるいは 0.75%ロピバカインを用いたトリガーポイント注射の比較. ペインクリニック 25 : 1639-1642, 2004.

10. 濱口眞輔, 岩崎忠臣, 深川大吾, 木村嘉之, 山口重樹, 北島敏光 : 多発性硬化症の下肢痛 (CRPS) に対して脊髄刺激療法が走行した症例. ペインクリニック 27 : 623-625, 2006.
11. 恵川宏敏, 山口重樹, 岩崎忠臣, 石川和由, 濱口眞輔, 北島敏光 : Pena-Shokeir症候群 I 型の麻酔経験. 日本小児麻酔学会誌 12 : 128-131, 2006.
12. 岩崎忠臣, 山口重樹, 金子瑞恵, 古川直樹, 篠崎未緒, 濱口眞輔, 北島敏光 : 胸郭出口症候群に対して神経ブロック療法が奏効した症例. ペインクリニック 28 : 329-395, 2007.
13. 濱口眞輔, 古川直樹, 金子瑞恵, 高薄敏史, 森田美則, 北島敏光 : 医療安全の観点から考案した酸素チューブの紹介. 麻酔 56 : 851-853, 2007.
14. 手塚薫子, 金子瑞恵, 大谷太郎, 寺島哲二, 橋本智貴, 濱口眞輔, 北島敏光 : シングルリードによるデュアルスティム法の脊髄刺激療法によって良好な疼痛管理をなし得たfailed back surgery syndromeの 1 症例. 29:789-791, 2008.
15. 森田美則, 橋本智貴, 手塚薫子, 大谷太郎, 寺島哲二, 古川直樹, 渡辺正嗣, 濱口眞輔, 北島敏光 : トリガーポイント注射部位に巨大血腫が発生したレックリングハウゼン氏病の 1 症例. ペインクリニック 29 : 1147-1149, 2008.
16. 渡辺正嗣, 橋本智貴, 手塚薫子, 古川直樹, 金子瑞恵, 岩崎忠臣, 森田美則, 濱口眞輔, 北島敏光 : 非がん性慢性疼痛患者に対するミルナシプランの効果に関する検討. ペインクリニック 29 : 1213-1222, 2008.
17. 船田安希, 今井裕, 山口重樹, 篠崎未緒, 濱口眞輔, 北島敏光 : 治療方法が制限された腎移植後の三叉神経痛に対して三叉神経高周波熱凝固法が奏効した 1 症例. ペインクリニック 29 : 1421-1423, 2008.

【総 説】

和文

1. 濱口眞輔, 北島敏光 : 胸部硬膜外ブロック. ペインクリニック 27 : S351-S359, 2006.
2. 佐伯吉規, 濱口眞輔, 下田和孝 : 修正電気けいれん療法. Mebio 24 : 39-50, 2007.
3. 濱口眞輔 : 帯状疱疹の痛みと帯状疱疹後神経痛に対する漢方薬. ペインクリニック 28 : 965-973, 2007.
4. 濱口眞輔 : 修正型電気痙攣療法と難治性慢性疼痛の客観的評価. ペインクリニック 29; 289-290, 2008.

【そ の 他】

和文

1. 濱口眞輔, 北島敏光 : 質疑応答 トロンボテストが低値である症例に対する硬膜外麻酔の可否について. 臨床麻酔 28 : 235-236, 2004.
2. 濱口眞輔, 北島敏光 : 質疑応答 脊髄くも膜下麻酔後の飲水開始について. 臨床麻酔 29 : 1055-1056, 2005.
3. 濱口眞輔, 北島敏光 : 術中にロピオンを使用した場合のボルタレンの使用について. 臨床麻酔 31:106-107, 2007.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	准教授	山口 重樹	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1992年6月～現在	日本麻酔科学会 会員（指導医）		
1992年7月～現在	日本ペイクリニック学会 会員（認定医）		
2006年4月～現在	日本緩和医療学会 会員（暫定指導医）		
1996年4月～現在	日本蘇生学会 会員（指導医）		
2007年4月～現在	日本神経麻酔・集中治療研究会 会員（評議員）		
1994年4月～現在	日本臨床麻酔学会 会員		
2003年4月～現在	日本東洋医学会 会員		
2005年4月～現在	米国麻酔学会 会員		
2006年4月～現在	国際麻酔研究会 議会員		
2001年4月～現在	米国神経科学学会 会員		
2004年2月～現在	臨床研修指導医		
2007年1月～現在	医学系 OSCE 外部評価委員		
2008年9月～現在	緩和ケア研修会 指導者		
2009年2月～現在	がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術指導者		
2005年10月～現在	日本医師会 産業医		
1994年1月～現在	日本医師会 健康スポーツ医		
2003年3月～現在	栃木県緩和ケア研究会 会員（幹事）		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 山口重樹. 現場での運用～「WHO方式がん疼痛治療法」を軸にした運用～, 最新・経皮吸収剤～開発の基礎から申請のポイントまで～, 情報機構, 東京: 183-191, 2008.			
2. 山口重樹, 篠崎未緒, 北島敏光: 下腸管膜動脈神経叢ブロック. 大瀬戸清茂編, 透視下神経ブロック法 医学書院, pp108-110, 2009.			
【原 著】			
欧文			
1. Yamaguchi S, Lande B, Kitajima T, Hori Y, Shirahata M: Patch clamp study of mouse glomus cells using a whole carotid body. Neurosci Lett 357: 155-157, 2004.			
2. Fujii K, Egawa H, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T, Minami J: Effect of head-up tilt after stellate ganglion block on QT interval and QT dispersion. Reg Anesth Pain Med 29: 317-322, 2004.			
3. Tezuka M, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Addition of dexmedetomidine prolongs duration of vasodilation induced by sympathetic block with mepivacaine in dogs. Reg Anesth Pain Med 29: 323-327, 2004.			
4. Takahashi Y, Tezuka M, Kimura Y, Nagao M, Yamazaki H, Yamaguchi S, Hamaguchi S: Comparison of 0.2% ropivacaine, 0.125% bupivacaine and 0.25% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. Reg Anesth Pain Med 29: 441-445, 2004.			
5. Takahashi Y, Ikeda T, Nagao M, Yamazaki H, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Differences in duration and magnitude of vasodilative effect by sympathetic block with ropivacaine 0.2% and mepivacaine			

- 0.5% in dogs. Dokkyo J Med Sci 32: 1-5, 2005.
6. Maekawa M, Watanabe M, Yamaguchi S, Konno R, Hori Y: Spatial learning and long-term potentiation of mutant mice lacking d-amino-acid oxidase. Neurosci Res 53: 34-38, 2005.
 7. Yamaguchi S, Balbir A, Okumura M, Schofield B, Coram J, Tankersley CG, Fitzgerald RS, O' Donnell CP, Shirahata M: Genetic influence on carotid body structure in DBA/2J and A/J strains of mice. Adv Exp Med Biol 580: 105-109, 2006.
 8. Otsubo T, Yamaguchi S, Shirahata M: Differential expression of oxygen sensitivity in voltage-dependent K channels in inbred strains of mice. Adv Exp Med Biol 580: 209-214, 2006.
 9. Otsubo T, Yamaguchi S, Shirahata M: Voltage-dependent K channels in mouse glomus cells are modulated by acetylcholine. Adv Exp Med Biol 580: 319-324, 2006.
 10. Egawa H, Morita M, Yamaguchi S, Nagao M, Iwasaki T, Hamaguchi S, Kitajima T, Minami J: Comparison between intraperitoneal CO₂ insufflation and abdominal wall lift on QT dispersion and rate-corrected QT dispersion during laparoscopic cholecystectomy. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 16: 78-81, 2006.
 11. Morita M, Tezuka M, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Optimal effective concentration of lidocaine for stellate ganglion block in pigs. The Pain Clinic 18: 207-212, 2006.
 12. Takiguchi T, Yamaguchi S, Tezuka M, Furukawa N, Kitajima T: Compression of the subarachnoid space by the enlarged epidural venous plexus in pregnant women. Anesthesiology 105: 848-851, 2006.
 13. Iwata H, Takasusuki T, Yamaguchi S, Hori Y: NMDA receptor 2B subunit-mediated synaptic transmission in the superficial dorsal horn of peripheral nerve-injured neuropathic mice. Brain Research 1135: 92-101, 2007.
 14. Iwasaki T, Takahashi Y, Kimura Y, Yamazaki H, Yamaguchi S, Kitajima T: Comparison of 0.25% levobupivacaine, 0.25% bupivacaine and 0.125% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. Reg Anesth Pain Med 32: 97-101, 2007.
 15. Hashizume Y, Yamaguchi S, Fukagawa D, Ikeda T, Hamaguchi S: Comparison of 0.2% ropivacaine and 0.25% bupivacaine in pediatric caudal block: requirement of postoperative analgesia and plasma concentration of local anesthetics. Dokkyo J Med Sci 34: 1-6, 2007.
 16. Takasusuki T, Fujiwara T, Yamaguchi S, Fukushima T, Akagawa K, Hori Y: Enhancement of synaptic transmission and nociceptive behaviour in HPC-1/syntaxin 1A knockout mice following peripheral nerve injury. Eur J Neurosci 26: 2179-2187, 2007.
 17. Shinozaki M, Yamaguchi S, Iwasaki T, Takahashi Y, Fukagawa D, Kimura Y, Hamaguchi S: Comparison of sympathetic block with 2.0% mepivacaine and surgical sympathectomy with radiofrequency thermocoagulation on vasodilative effect in dogs. Dokkyo J Med Sci 35: 1-6, 2008.

和文

1. 池田知史, 吉田伸司, 渡辺正嗣, 高薄敏史, 山口重樹: 帯状疱疹後神経痛患者の精神・心理的評価. 日本ペインクリニック学会誌 14: 401-405, 2007.

【症例報告】

欧文

1. Takiguchi T, Yamaguchi S, Okuda Y, Kitajima T: Deviation of the cauda equina by changing position. Anesthesiology 100: 754-755, 2004.
2. Takiguchi T, Yamaguchi S, Hashizume Y, Kitajima T: Movement of the cauda equina during the lateral decubitus position with fully flexed leg. Anesthesiology 101: 1250, 2004.
3. Yamaguchi S, Urabe K, Ikeda T, Kitajima T: Airway obstruction due to incarceration of the epiglottis into the epiglottic bars during general anesthesia with a new perilaryngeal airway (CobraPLA). Anesth Analg 102: 973-974, 2006.
4. Takiguchi T, Yamaguchi S, Usui Y, Kitajima T: Morphological findings of the cauda equina in the lateral

decubitus position in cadavers. Anesth Analg 103: 501-502, 2006.

和文

1. 高井真紀, 臼井要介, 永尾勝, 恵川宏敏, 山口重樹, 濱口眞輔, 奥田泰久, 北島敏光: フェノールグリセリンを用いたくも膜下ブロックにより除痛した脊椎転移による脊髄損傷患者の1症例. ペインクリニック 25 (別冊春号): S10-S15, 2004.
2. 藤巻克久, 山口重樹, 佐藤裕美, 見塩六生, 奥田泰久, 北島敏光: 心因性の関与が疑われた小児regional pain syndrome type Iの1症例. ペインクリニック 25 (別冊春号): S221-S225, 2004.
3. 高薄敏史, 渡辺雅嗣, 鷹西敏雄, 山口重樹, 濱口眞輔, 北島敏光: 修正大血管転位症を伴った帝王切開症例の麻酔経験. 麻酔 53: 1276-1278, 2004.
4. 濱口眞輔, 池田知史, 山崎肇, 木村嘉之, 永尾勝, 和氣晃司, 山口重樹, 北島敏光: 術中大量出血をきたした赤血球増加症患者の麻酔経験. 麻酔 53: 785-787, 2004.
5. 濱口眞輔, 岩崎忠臣, 深川大吾, 木村嘉之, 山口重樹, 北島敏光: 多発性硬化症の下肢痛 (CRPS) に対して脊髄刺激療法が奏効した1症例. ペインクリニック 27: 623-625, 2006.
6. 恵川宏敏, 山口重樹, 岩崎忠臣, 石川和由, 濱口眞輔, 北島敏光: Pena-Shokeir症候群I型の麻酔経験. 日本小児麻酔学会誌 12: 128-131, 2006.
7. 船田安希, 今井裕, 山口重樹, 篠崎未緒, 濱口眞輔, 北島敏光: 治療方法が制限された腎移植後の三叉神経痛に対して三叉神経高周波熱凝固法が奏効した1症例. ペインクリニック 29: 1421-1423: 2008.
8. 山口重樹, 石川和由, 古川直樹, 北島敏光, 鷹西敏雄: オピオイドおよびガバペンチンを用いて治療した後天性免疫不全症候群に併発した帯状疱疹後神経痛. 慢性疼痛 27: 73-77, 2008.
9. 山口重樹, 手塚正智, 金子瑞恵, 池田知史, 北島敏光: 多発性骨髄腫の発症により再燃した帯状疱疹後神経痛. 慢性疼痛 27: 79-82, 2008.
10. 山口重樹, 橋爪義隆, 北島敏光, 佐伯吉規, 下田和孝: 慢性疲労症候群および線維筋痛症が疑われた症例に対するオピオイドとガバペンチンの併用療法. 慢性疼痛 27: 83-88, 2008.
11. 興津久美子, 岩瀬利康, 宮川潤子, 本瀬葉子, 石川昌弘, 伊藤好夫, 篠崎桂子, 上武真佐恵, 森実朋子, 越川千秋, 佐山静江, 山口重樹, 北島敏光: 薬剤師からみたオピオイド鎮痛薬の非がん性疼痛患者への処方について. 慢性疼痛 27: 99-102, 2008.

【総 説】

和文

1. 山口重樹: 高濃度セボフルランによる麻酔導入法—小児から高齢者まで—. 日本臨床麻酔学会誌 24: 460-470, 2004.
2. 山口重樹: 獨協医科大学病院における帝王切開術の麻酔管理—硬膜外麻酔併用脊髄くも膜下麻酔を中心に—. 栃木県産婦人科医報 32: 77-86, 2005.
3. 山口重樹, 北島敏光: 星状神経節ブロック. ペインクリニック 27: S519-S528, 2006.
4. 滝口鉄郎, 山口重樹, 橋爪義孝, 手塚正智, 北島敏光: 脊髄MRI所見からみた脊髄くも膜下麻酔および硬膜外麻酔施行時の注意点. 麻酔 55: 1023-1030, 2006.
5. 山口重樹: 慢性疼痛とストレス. Dokkyo J Med Sci 33: 255-261, 2006.
6. 滝口鉄郎, 山口重樹, 北島敏光: 脊柱管内の出来事—Neuraxial anesthesiaに影響する現象—. 日本臨床麻酔学会誌 27: 675-683, 2007.
7. 山口重樹, 北島敏光: アセトアミノフェン. ペインクリニック 29: 606-613: 2008.
8. 山口重樹, 北島敏光: 慢性疼痛治療薬の有害事象とその判断. PHARM STAGE 7: 27-30: 2008.
9. 山口重樹, 北島敏光: 持続くも膜下注入による慢性疼痛治療—モルヒネからジコノタイドまで—. ペインクリニック 29: 1213-1222: 2008
10. 山口重樹, 北島敏光: 神経障害性疼痛の基礎と臨床 I III. 神経障害性疼痛の治療 C) 薬物療法 5. 各種鎮痛薬 1) 持続くも膜下注入による慢性疼痛治療—モルヒネからジコノタイドまで—. ペインクリニック 30:

S253-S256, 2009.

【その他】

和文

1. 山口重樹, 北島敏光: 情報ライブラリー. 疼痛ナビ, 2008,
http://www.e-paincontrol.com/main/5_Library/article_01/siryu_01.php
2. 山口重樹: フロンティアセミナー, がん疼痛治療とアセトアミノフェン, 疼痛ナビ, 2008,
http://www.e-paincontrol.com/main/1_frontierseminar/dai_13/13.php

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	講師	永尾 勝	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1996年5月～現在	日本麻酔科学会員		
1996年5月～現在	日本ペインクリニック学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
<ol style="list-style-type: none"> 1. Takahashi Y, Tezuka M, Kimura Y, <u>Nagao M</u>, Yamazaki H, Yamaguchi S, Hamaguchi S: Comparison Of 0.2% ropivacaine, 0.125% bupivacaine and 0.25% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. Reg Anesth Pain Med 29:441-445, 2004. 2. Takahashi Y, Ikeda T, <u>Nagao M</u>, Yamazaki H, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Differences in duration and magnitude of vasodilative effect by sympathetic block with ropivacaine 0.2% and mepivacaine 0.5% in dogs. Dokkyo J Med Sci 32:1-5, 2005. 3. Egawa H, Morita M, Yamaguchi S, <u>Nagao M</u>, Iwasaki T, Hamaguchi S, Kitajima T, Minami J: Comparison between intraperitoneal CO₂ insufflation and abdominal wall lift on QT dispersion and rate-corrected QT dispersion during laparoscopic cholecystectomy. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 16:78-81, 2006. 			
【症例報告】			
和文			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 高井真紀, 臼井要介, <u>永尾勝</u>, 恵川宏敏, 山口重樹, 濱口眞輔, 奥田泰久, 北島敏光: フェノールグリセリンを用いたくも膜下ブロックにより除痛した脊椎転移による脊髄損傷患者の1症例. ペインクリニック 25 (別冊春号): S10-S15, 2004. 2. 池田知史, 藤巻克久, 山崎肇, 臼井要介, <u>永尾勝</u>, 濱口眞輔, 奥田泰久, 北島敏光: 超高齢者特発性三叉神経痛3症例の治療経験. ペインクリニック 25 (別冊春号): S229-S231, 2004. 3. 濱口眞輔, 山崎肇, 池田知史, 高薄敏史, 森田美則, 木村嘉之, <u>永尾勝</u>, 北島敏光: 当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった頸椎症手術後の難治性上肢痛の2例. 痛みと漢方 14: 58-61, 2004 4. 濱口眞輔, 池田知史, 山崎肇, 木村嘉之, <u>永尾勝</u>, 和氣晃司, 山口重樹, 北島敏光: 術中大量出血をきたした赤血球増加症患者の麻酔経験. 麻酔 53: 785-787, 2004 			

5. 濱口眞輔, 山崎肇, 永尾勝, 藤井宏一, 高橋良享, 北島敏光: ノイロトロピン錠の内服によって間欠性跛行が軽快した腰部脊柱管狭窄症の1例. ペインクリニック 25: 1398-1399, 2004.
6. 濱口眞輔, 高橋良享, 藤井宏一, 森田美則, 木村嘉之, 永尾勝, 山崎肇, 北島敏光: 筋・筋膜性疼痛症候群に対するネオビタカインあるいは0.75%ロピバカインを用いたトリガーポイント注射の比較. ペインクリニック 25: 1639-1642, 2004.

【総説】

和文

1. 山崎肇, 古川直樹, 金子瑞恵, 岩崎忠臣, 渡辺正嗣, 岩田英明, 藤井宏一, 高橋良享, 石川和由, 手塚正智, 篠崎未緒, 深川大吾, 木村嘉之, 池田知史, 永尾勝, 恵川宏敏, 鷹西敏雄, 山口重樹, 濱口眞輔, 北島敏光: ギャバペンチン 28: 1997-2003, 2004.

【その他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	講師	池田 知史	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1997年5月～現在	日本麻酔科学会員		
1997年5月～現在	日本ペインクリニック学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
<p><u>池田知史</u>, 吉田伸司, 渡辺正嗣, 高薄敏史, 山口重樹: 帯状疱疹後神経痛患者の精神・心理評価. 日本ペインクリニック学会誌 14: 401-405, 2007.</p>			
【原 著】			
欧文			
<ol style="list-style-type: none"> 1. Takahashi Y, <u>Ikeda T</u>, Nagao M, Yamazaki H, Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Differences in duration and magnitude of vasodilative effect by sympathetic block with ropivacaine 0.2% and mepivacaine 0.5% in dogs. Dokkyo J Med Sci 32:1-5, 2005. 2. Hashizume Y, Yamaguchi S, Fukagawa D, <u>Ikeda T</u>, Nagai T, Kitajima T: Comparison of 0.2% ropivacaine and 0.25% bupivacaine in pediatric caudal block: evaluation of postoperative pain and plasma concentration of local anesthetics. Dokkyo J Med Sci 34: 1-6, 2007. 			
【症例報告】			
欧文			
<ol style="list-style-type: none"> 1. Yamaguchi S, Urabe K, <u>Ikeda T</u>, Kitajima T: Airway obstruction due to incarceration of the epiglottis into the epiglottic bars during general anesthesia with a new perilaryngeal airway (CobraPLA). Anesth Analg 102:973, 2006. 			
和文			
<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>池田知史</u>, 藤巻克久, 山崎肇, 臼井要介, 永尾勝, 濱口眞輔, 奥田泰久, 北島敏光: 超高齢者特発性三叉神経痛3症例の治療経験. ペインクリニック (別冊春号) 25:S229-S231, 2004. 2. 濱口眞輔, 山崎肇, <u>池田知史</u>, 高薄敏史, 森田美則, 木村嘉之, 永尾勝, 北島敏光: 当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった頸椎症手術後の難治性上肢痛の2例. 痛みと漢方 14:58-61, 2004. 3. 濱口眞輔, <u>池田知史</u>, 山崎肇, 木村嘉之, 永尾勝, 和氣晃司, 山口重樹, 北島敏光: 術中大量出血をきたした赤血球増加症患者の麻酔経験. 麻酔 53:785-787, 2004. 4. 山口重樹, 手塚正智, 金子瑞恵, <u>池田知史</u>, 北島敏光: 多発性骨髄腫の発症により再燃した帯状疱疹後神経痛. 慢性疼痛 27:83-88, 2008. 			

【総説】

和文

1. 山崎肇, 古川直樹, 金子瑞恵, 岩崎忠臣, 渡辺正嗣, 岩田英明, 藤井宏一, 高橋良享, 石川和由, 手塚正智, 篠崎未緒, 深川大吾, 木村嘉之, 池田知史, 永尾勝, 恵川宏敏, 鷹西敏雄, 山口重樹, 濱口眞輔, 北島敏光: ギャバペンチン. 臨床麻酔 28:1997-2003, 2004.

【その他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	講師	木村 嘉之	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1997年4月～現在	日本麻酔科学会会員		
1997年4月～現在	日本臨床麻酔科学会会員		
1997年4月～現在	日本ペインクリニック学会会員		
2006年4月～現在	日本東洋医学学会会員		
2008年4月～現在	日本緩和医療学会会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Tezuka M, <u>Kimura Y</u> , Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Addition of dexmedetomidine prolongs duration of vasodilation induced by sympathetic block with mepivacaine in dogs. <i>Region Anesth Pain Med</i> 29:323-327, 2004			
2. Takahashi Y, Tezuka M, <u>Kimura Y</u> , Nagao M, Yamazaki H, Yamaguchi S, Hamaguchi S: Comparison of 0.2% ropivacaine, 0.125% bupivacaine and 0.25% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. <i>Region Anesth Pain Med</i> 29:441-445, 2004			
3. Takahashi Y, Ikeda T, Nagao M, Yamazaki H, <u>Kimura Y</u> , Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Differences in duration and magnitude of vasodilative effect by sympathetic block with ropivacaine 0.2% and mepivacaine 0.5% in dogs. <i>Dokkyo J Med Sci</i> 32:1-5, 2005			
4. Morita M, Tezuka M, <u>Kimura Y</u> , Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Optimal effective concentration of lidocaine for stellate ganglion block in pigs. <i>The Pain Clinic</i> 18:207-212, 2006.			
5. Iwasaki T, Takahashi Y, <u>Kimura Y</u> , Yamazaki H, Yamaguchi S, Kitajima T: Comparison of 0.25% levobupivacaine, 0.25% bupivacaine, and 0.125% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. <i>Reg Anesth Pain Med</i> 32: 97-101, 2007.			
6. Shinozaki M, Yamaguchi S, Iwasaki T, Takahashi Y, Fukagawa D, <u>Kimura Y</u> , Hamaguchi S: Comparison of sympathetic block with 2.0% mepivacaine and surgical sympathectomy with radiofrequency thermocoagulation on vasodilative effect in dogs. <i>Dokkyo J Med Sci</i> 35:1-6, 2008			
7. Zhang Y, Ge HY, Yue SW, <u>Kimura Y</u> , Arendt-Nielsen L: Attenuated Skin Blood Flow Response to Nociceptive Stimulation of Latent Myofascial Trigger Points. <i>Arch Phys Med Rehabil</i> 90:325-332, 2009			
8. <u>Kimura Y</u> , Ge HY, Zhang Y, Kimura M, Sumikura H, Arendt-Nielsen L: Evaluation of sympathetic			

vasoconstrictor response following nociceptive stimulation of latent myofascial trigger points in humans. Acta Physiol (in print)

【症例報告】

和文

1. 濱口眞輔、山崎肇、池田知史、高薄敏史、森田美則、木村嘉之、永尾勝、北島敏光：当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった頸椎症手術後の難治性上肢痛の2例. 痛みと漢方 14 : 58-61, 2004
2. 濱口眞輔、高橋良享、藤井宏一、森田美則、木村嘉之、永尾勝、山崎肇、北島敏光：筋・筋膜性疼痛症候群に対するネオビタカインあるいは0.75%ロピバカインを用いたトリガーポイント注射の比較. ペインクリニック 25 : 1639-1642, 2004
3. 濱口眞輔、岩崎忠臣、深川大吾、木村嘉之、山口重樹、北島敏光：多発性硬化症の下肢痛（CRPS）に対して脊髄刺激療法が奏効した1症例. ペインクリニック 27:623-625, 2006

【総 説】

和文

1. 山崎肇、古川直樹、金子瑞恵、岩崎忠臣、渡辺正嗣、岩田英明、藤井宏一、高橋良享、石川和由、手塚正智、篠崎未緒、深川大吾、木村嘉之、池田知史、永尾勝、恵川宏敏、鷹西敏雄、山口重樹、濱口眞輔、北島敏光：ギャバペンチン 28 : 1997-2003, 2004

【そ の 他】

和文

1. 木村嘉之：文献抄訳：Increased pericranial tenderness, decreased pressure pain threshold, and headache clinical parameters in chronic tension-type headache patients. ペインクリニック 28 : 1175, 2007

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	講師	深川 大吾	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1998年5月～現在	日本麻酔科学会員		
1998年5月～現在	日本ペインクリニック学会員		
2009年4月～現在	日本緩和医療学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
<p>深川大吾, 藤井宏一, 山口重樹, 濱口眞輔, 小林直彦: 左室心筋における中等度低酸素による誘導型NO合成酵素 (iNOS) の発現. 麻酔 53: 23 - 28, 2004.</p>			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
<ol style="list-style-type: none"> 1. Hashizume Y, Yamaguchi S, <u>Fukagawa D</u>, Ikeda T, Nagai T, Kitajima T: Comparison of 0.2% ropivacaine and 0.25% bupivacaine in pediatric caudal block: evaluation of postoperative pain and plasma concentration of local anesthetics. Dokkyo J Med Sci 34:1-6, 2007. 2. Shinozaki M, Yamaguchi S, Iwasaki T, Takahashi Y, <u>Fukagawa D</u>, Kimura Y, Hamaguchi S: Comparison of sympathetic block with 2.0% mepivacaine and surgical sympathectomy with radiofrequency thermocoagulation on vasodilative effect in dogs. Dokkyo J Med Sci 35:1-6, 2008. 			
【症例報告】			
和文			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 濱口眞輔, 岩崎忠臣, <u>深川大吾</u>, 木村嘉之, 山口重樹, 北島敏光: 多発性硬化症の下肢痛 (CRPS) に対して脊髄刺激療法が奏効した1症例. ペインクリニック 27:623-625, 2006. 			
【総 説】			
和文			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 山崎肇, 古川直樹, 金子瑞恵, 岩崎忠臣, 渡辺正嗣, 岩田英明, 藤井宏一, 高橋良享, 石川和由, 手塚正智, 篠崎未緒, <u>深川大吾</u>, 木村嘉之, 池田知史, 永尾勝, 恵川宏敏, 鷹西敏雄, 山口重樹, 濱口眞輔, 北島敏光: ギャバペンチン. 臨床麻酔 28: 1997-2003, 2004. 			
【その他】			

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	講師	山崎 肇	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1996年5月～現在	日本麻酔科学会員		
1996年5月～現在	日本ペインクリニック学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Takahashi Y, Tezuka M, Kimura Y, Nagao M, <u>Yamazaki H</u> , Yamaguchi S, Hamaguchi S: Comparison Of 0.2% ropivacaine, 0.125% bupivacaine and 0.25% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. Reg Anesth Pain Med 29:441-445, 2004.			
2. Takahashi Y, Ikeda T, Nagao M, <u>Yamazaki H</u> , Kimura Y, Yamaguchi S, Hamaguchi S, Kitajima T: Differences in duration and magnitude of vasodilative effect by sympathetic block with ropivacaine 0.2% and mepivacaine 0.5% in dogs. Dokkyo J Med Sci 32:1-5, 2005.			
3. Iwasaki T, Takahashi Y, Kimura Y, <u>Yamazaki H</u> , Yamaguchi S, Kitajima T: Comparison of 0.25% levobupivacaine, 0.25% bupivacaine, and 0.125% bupivacaine for duration and magnitude of action in peripheral arterial blood flow induced by sympathetic block in dogs. Reg Anesth Pain Med 32:97-101, 2007.			
【症例報告】			
和文			
1. 池田知史, 藤巻克久, <u>山崎肇</u> , 臼井要介, 永尾勝, 濱口眞輔, 奥田泰久, 北島敏光: 超高齢者特発性三叉神経痛3症例の治療経験. ペインクリニック 25(別冊春号):S229-S231, 2004.			
2. 濱口眞輔, <u>山崎肇</u> , 池田知史, 高薄敏史, 森田美則, 木村嘉之, 永尾勝, 北島敏光: 当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった頸椎症手術後の難治性上肢痛の2例. 痛みと漢方 14:58-61, 2004			
3. 濱口眞輔, 池田知史, <u>山崎肇</u> , 木村嘉之, 永尾勝, 和氣晃司, 山口重樹, 北島敏光: 術中大量出血をきたした赤血球増加症患者の麻酔経験. 麻酔 53:785-787, 2004			
4. 濱口眞輔, <u>山崎肇</u> , 永尾勝, 藤井宏一, 高橋良享, 北島敏光: ノイロトロピン錠の内服によって間欠性跛行が軽快した腰部脊柱管狭窄症の1例. ペインクリニック 25:1398-1399, 2004.			
5. 濱口眞輔, 高橋良享, 藤井宏一, 森田美則, 木村嘉之, 永尾勝, <u>山崎肇</u> , 北島敏光: 筋・筋膜性疼痛症候群に対するネオビタカインあるいは0.75%ロピバカインを用いたトリガーポイント注射の比較. ペインクリニック			

25 : 1639-1642, 2004.

【総 説】

和文

1. 山崎肇, 古川直樹, 金子瑞恵, 岩崎忠臣, 渡辺正嗣, 岩田英明, 藤井宏一, 高橋良享, 石川和由, 手塚正智, 篠崎未緒, 深川大吾, 木村嘉之, 池田知史, 永尾勝, 恵川宏敏, 鷹西敏雄, 山口重樹, 濱口眞輔, 北島敏光 : ギャバペンチン 臨床麻酔 28 : 1997-2003, 2004.

【その他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
麻酔科学	講師	和氣 晃司	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
<p>日本麻酔科学会 日本ペインクリニック学会 日本集中治療医学会 日本救急医学会</p>			
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. 今高城治, 根岸正穂, 山内秀雄, 有阪治, 片塩仁, 菊池仁, 岩田健司, 神津成紀, 根本真人, <u>和氣晃司</u> , 小野一之, 崎尾秀彰: 軽度脳低体温療法プロトコールの問題点と展望. 栃木県医学会々誌 37: 32-35, 2007.			
【症例報告】			
欧文			
1. Imataka G, Katashio H, <u>Wake K</u> , Nakagawa E, Yamanouchi H, Eguchi M: A patient with influenza A-associated encephalopathy treated with mild hypothermic therapy and methylprednisolone pulse therapy. Dokkyo J med Sci 32: 149-152, 2005.			
2. Hiki T, Okada Y, <u>Wake K</u> , Fujiwara A, Kaji Y: Embolization for a bleeding pelvic fracture in a patient with persistent sciatic artery. Emerg Radiol 14: 55-57, 2007.			
3. Imataka G, Kuwashima S, <u>Wake K</u> , Chiba K, Yamanouchi H, Arisaka O: Three cases of shaken baby syndrome without a history of shaking. Dokkyo J Med Sci 36: 99-102, 2009.			
和文			
1. 宮本健志, 三井昌彦, 片塩仁, <u>和氣晃司</u> , 今高城治, 山内秀雄, 江口光興: 脳低体温療法とステロイド療法が奏功したtheophylline関連けいれん重積症の1例. 脳と発達 38: 219-220, 2006.			
2. 山内秀雄, 今高城治, 片塩仁, <u>和氣晃司</u> , 橋本偵介, 崎尾秀彰, 江口光興: 両側前頭葉優位に病変を呈する乳幼児急性脳症. Dokkyo J Med Sci 32: 117, 2006.			
3. 福田啓伸, 吉原重美, 西田光宏, 片塩仁, <u>和氣晃司</u> , 平尾準一, 有阪治: シベレスタットナトリウム水和物が有効であった急性呼吸窮迫症候群を合併した麻疹肺炎の乳児例. 日本小児呼吸器疾患学会雑誌, 20: 12-17, 2009.			

【総 説】

和文

1. 和氣晃司：救急疾患の診療の実際 呼吸器疾患. Dokkyo J Med Sci 34: 309-314, 2007.

【そ の 他】

和文

1. 和氣晃司：命を救うには2006 ～一次救命処置の重要性～. 市民の集い, 結城, 2006, 9.
2. 和氣晃司：人形を用いた気管挿管シミュレーション. 平成18年度救急救命士既資格取得者に対する気管挿管講習, 栃木県消防学校, 2007, 1
3. 和氣晃司：人形を用いた気管挿管シミュレーション. 平成19年度救急救命士既資格取得者に対する気管挿管講習, 栃木県消防学校, 2008, 1.
4. 和氣晃司：人形を用いた気管挿管シミュレーション. 平成20年度救急救命士既資格取得者に対する気管挿管講習, 栃木県消防学校, 2009, 1.